〔衛生動物 Vol. 26 No. 4 p. 253~254 1975〕

資 料

南西諸島の人家内にみられるクモ類

大 利 昌 久

横浜市立大学医学部寄生虫学教室

(〒232 横浜市南区浦舟町2の33)

(受領: 1975年4月24日)

Spiders found in houses in Nansei
Islands, South Japan

Masahisa ORI

Department of Parasitology, School of Medicine,
Yokohama City University, Urafune,
Minami-ku, Yokohama 232, Japan

人家のクモ類は、人家の衛生害虫を捕食する有益な種類が多いが (Hobby, 1930, 1940; Newstead, 1955; Turnbull, 1960; 大利, 1974), なかには重篤な刺咬病害性を有する種も少数ながら含まれている (Schenone 1957; 片岡, 1968; 斉藤ら, 1970; Spielman and Levi, 1970; Bücherl and Buckley, 1971; 大利, 1975a, 1975b)

著者は、このようなクモ類の二面性を重視し、長崎県をはじめ多くの地域にわたって人家のクモ類相の調査をすすめてきたが、今回わが国の南端、亜熱帯性気候域に属する南西諸島においても同様の調査をおこなった。

調査方法

1972年3月15日から4月9日にかけて、沖縄本島の那覇 (3軒), 名護 (3軒), 八重山群島の石垣島 (3軒), 西表島 (4軒), 与那国島 (3軒), の16軒, 1974年6月28日から7月5日にかけて、奄美大島の古仁屋 (2軒), 名瀬 (5軒) の7軒, 合計23軒の人家を調査した。

調査方法は前報 (大利, 1974) と同じく、人家内の各所を隅々まで見てまわる方法をとった。

23軒の人家の環境は、山林10軒, 漁港7軒, 市街地6軒である。

調査成績

Table 1は23軒の人家内から記録されたクモ類を科別に示したものである。すべて新蛛亜目に属し、篩蛛類4種, 無篩蛛類20種, 総計11科, 17属, 24種が記録された。その主な種はコガネグモ科, ハエトリグモ科, ウズグモ科, ヤマシログモ科などのものであった。生活形態

Table 1 Spiders found in houses in different environments of Nansei Islands, South Japan

Family and species	Japanese name
Uloboridae	ウズグモ科
* <i>Uloborus geniculatus</i>	ミナミウズグモ
<i>U. sybotides</i>	カタハリウズグモ
* <i>U. varians</i>	ウズグモ
Oecobiidae	チリグモ科
* <i>Oecobius annulipes</i>	チリグモ
Scytodidae	ヤマシログモ科
<i>Scytodes fusca</i>	クロヤマシログモ
<i>S. nigrolineata</i>	ヤマシログモ
* <i>S. thoracica</i>	ユカタヤマシログモ
Pholcidae	ユウレイグモ科
* <i>Pholcus phalangioides</i>	イエユウレイグモ
<i>P. crypticolens</i>	ユウレイグモ
Theridiidae	ヒメグモ科
<i>Conopistha (Argyrodes) bonandea</i>	シロカネイソウロウグモ
* <i>Theridion tepidariorum</i>	オオヒメグモ
Argiopidae	コガネグモ科
* <i>Neoscona nautica</i>	イエオニグモ
<i>N. scylla</i>	ヤマシロオニグモ
<i>Gasteracantha kuhlii</i>	トゲグモ
<i>Cyclosa mulmeinensis</i>	トゲゴミグモ
<i>Cyrtophora moluccensis</i>	スズミグモ
Agelenidae	タナグモ科
* <i>Tegenaria domestica</i>	イエタナグモ
Urocteidae	ヒラタグモ科
* <i>Uroctea compactilis</i>	ヒラタグモ
Thomisidae	カニグモ科
<i>Philodromus subaureolus</i>	アサヒエビグモ
Salticidae	ハエトリグモ科
<i>Hasarius adansoni</i>	アダンソンハエトリグモ
<i>H. doenitz</i>	デーニッツハエトリグモ
* <i>Plexippus paykulli</i>	チャスジハエトリグモ
<i>Silerella vittata</i>	アオオビハエトリグモ
Heteropodidae	アシダカグモ科
* <i>Heteropoda venatoria</i>	アシダカグモ

* common spiders in houses in different environments

別にみると造網性種は18種, 徘徊狩猟性種は6種であった。

生息環境別では山林の人家23種, 漁港の人家14種, 市

街地の人家12種で、これらの3地域に共通な種は*印を付した11種であった。

産地別では奄美大島から9科, 14属, 16種, 沖縄本島から8科, 10属, 10種, 八重山群島から10科, 10属, 15種(石垣島14種, 西表島14種, 与那国島8種)が記録された。

考察

南西諸島の人家内から24種のクモ類が記録され, そのうちいろいろな環境下の人家に広くみられたのは11種であった。*Uloborus geniculatus* は南西諸島の渡瀬線を北限に分布している南方系のクモといわれている(八木沼, 1966)。本種は人家内ばかりか, 人家の庭, 畜舎, 下水溝, 山林, 洞窟にも広く分布していた。

Scytodes fusca は, 八重山群島の大原(西表島)の山林の人家で記録した種で, 従来下謝名(1966)が疑問種として報告していた種であるが, 今回の記録によってその分布が明らかになった。*Gasteracantha kuhlii*, *Cyclosa mulmeinensis*, *Cyrtophora moluccensis*, *Philodromus subaureolus* の4種は, 野外での個体数が圧倒的に多いので, 野外からの迷入種と思われる。なお, 与那国島から記録された8種のクモ類は, 同島ではじめて記録されたものである。

生息環境別にみると, クモ類相は山林, 漁湾, 市街地の順に豊富であった。クモ類相および個体数は, その環境における餌動物の種類と量に影響されると考えられるが, 山林中の人家に多いことは, 餌動物の人家への侵入機会がより多いためと思われる。

今回の調査では, 既知の重篤な刺咬症をもたらす種は発見されなかった。

参考文献

- Bücherl, W. and E. Buckley (1971) : Venomous animals and their venoms, Volume III, pp. 537, Academic Press, New York and London.
- Hobby, B. M. (1930) : Spiders and their insect prey. *Proc. Entomol. Soc. London*, **5** : 107-110.
- Hobby, B. M. (1940) : Spiders as natural enemies of crane flies. *Scottish Naturalist*, **160** : 127-129.
- 片岡佐太郎 (1968) : クモの毒について. *Atypus*, No. 46-47 : 32-34.
- Newstead, R. (1955) : Spiders and their prey. *Saltica* sp. on the moth *Lobophora* (Trichopteryx) carpenata (Borkh). *Northwest Naturalist (N.S.)*, **1** : 94.
- 大利昌久 (1974) : 衛生害虫の天敵としてのクモ類の研究. 1. 長崎県の家屋内に棲むクモ類の観察. *衛生動物*, **25**(2) : 153-160.
- 大利昌久 (1975a) : クモ刺咬症の10例. *衛生動物*, **26**(2・3) : 83-87.
- 大利昌久 (1975b) : カバキコマチグモによる刺咬症. *Acta Arachnologica*, **26** : 20-25.
- Schenone, H. (1957) : A fetal case of cutaneous-visceral Loxoscelism in Mendoza (Argentina) *Bol. Chileno. de Parasit.*, **12**(3) : 56-59.
- Spielman, A. and H. W. Levi (1970) : Probable envenomation by *Chiracanthium mildei*; A spider found in houses. *A.J.T.M. & H.* **19**(4) : 729-732.
- 斉藤一三, 飯島利彦, 林正高 (1970) : 蜘蛛刺咬症の1例. *衛生動物*, **20**(4) : 260-261.
- 下謝名松栄 (1966) : 先島(石垣島・西表島)の真正蜘蛛類. *Atypus*, No. 41-42 : 24-36.
- Turnbull, A. L. (1960) : The prey of the spider *Linyphia Triangularis* (Clerk) (Aranea: Linyphiidae). *Can. J. Zool.*, **38** : 859-873.
- 八木沼健夫 (1966) : 南西諸島学術調査報告 pp. 56, 関西自然文化研究会, 大阪.

Summary

A study was carried out on the spider fauna of houses in different environments of Nansei Islands, South Japan. In total 24 species belonging to 17 genera and 11 families were collected, among which 11 species were common spiders in houses. No dangerous spider was found in any houses in this survey.